

Tohoku Gakuin Alumni Association

LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.21 2017.9



通信

Life Light Love

18万人が繋ぐ、TGコミュニケーション



GOLF

第4回 TG交流ゴルフ 大会のご案内

東北学院同窓会主催

東北学院同窓会では、仙台同窓会の事業でありましたTG交流ゴルフ大会を引き継ぎまして、東北学院同窓会主催事業として行っております。

つきましては「東北学院同窓会主催第4回TG交流ゴルフ大会」を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

日時

平成29年10月3日(火)

会場

仙台カントリー倶楽部・
名取コース

(名取市愛島笠島字南北沢1-8 TEL:022-383-3636)
※詳細はホームページをご覧ください。



クリスマス パーティー開催 のご案内

東北学院同窓会主催

日時

平成29年12月7日(木)
18:00～

会場

仙台国際ホテル

※詳細は、後日ホームページ等に掲載いたします。

Christmas
party

LUX MUNDI

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

[ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.21 2017.9

表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。



表紙

ホーイ記念館

東北学院創立130周年を記念して、三校祖の一人、ホーイ先生の名前を冠し、土樋キャンパス正門向かいに建設しました。地上5階・地下1階建てで、1階にカフェと学生が主体的に学べるスペースを備えた建物です。

- 01 第4回 TG交流ゴルフ大会のご案内
クリスマスパーティー開催のご案内
- 02 特集
ホーチキ株式会社
代表取締役社長 山形 明夫

社会福祉法人仙台キリスト教育児院 業務執行理事院長
児童福祉施設 丘の家子どもホーム 園長 鈴木 重良
- 10 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～

株式会社松倉 代表取締役 松倉 善昭

株式会社赤塚製氷
代表取締役 赤塚 弘実
専務取締役 赤塚 弘行
- 14 懐かしい風 新しい出会い～同窓生のお店を訪ねて～

株式会社門崎 代表取締役 千葉 祐士

合名会社川敬商店 川名 由倫
- 18 代議員会報告 / 収支決算書
- 20 TGギャラリー
- 21 TGネットワーク
- 巻末 校友課より



創業100周年を節目に 新しいステージへ



ホーチキ株式会社
代表取締役社長

山形 明夫

(やまがた・あきお)
昭和48年工学部機械工学科卒

昭和25年10月14日生まれ。宮城県石巻市出身。大学卒業後、ホーチキ(株)に入社、東京支店工事課に配属。4年後に消火装置部営業課に異動となり、営業畑を歩む。平成11年人事部長に就任。取締役管理本部長、専務取締役海外本部長などを歴任し、平成29年6月より現職。



国内外から集まる高い評価と信頼

「中学、高校と卓球をしております、運良くインターハイに団体とダブルスに加えシングルスでも出場できました。当時、卓球はいまのようにメジャーなスポーツではありませんでしたが、高校まではとにかく部活動にかなり注力しました。その反動というわけではないのですが、大学入学後は社会に出たときのために、いろいろなことを経験したり、覚えたりしたいと思ひまして、友人たちと共に社会を知る勉強もずいぶんしました。楽しかったですね」と笑顔で話す山形さんは、この6月、日本で最初の火災報知機メーカーであるホーチキ(株)の代表取締役社長に就任した。山形さんに、社長就任の心境を伺った。

「この度、大役を拝命することとなりました、先輩方が築きあげた歴史の重さと、社長という責任の重大さを改めて感じているところです。来年、弊社はちょうど創業から100周年を迎えます。

す。また、今年度は長期ビジョン『新VISION 2017』の最終年度でもあり、何としても有終の美を飾って、大きな節目である会社創立100周年を笑顔で迎えたいとの決意を新たにしています」と意欲を見せる。

ホーチキ(株)は1918年の創業。当時の警視庁(警察行政と消防行政を担当)の要請により、火災から都市を守る目的で設立された。その当時、日本に存在した全13社の損害保険会社と、3社の生命保険会社の共同出資により設立された公益性の高い企業でもある。

創業から2年後の1920年、同社が開発した街路型公衆火災盗難報知機が、警察の要請を受けて東京・日本橋界隈に24機設置された。これが日本初の防災システムが産声をあげた瞬間となった。以降、皇居や国会議事堂、学校、病院へと広く全国に普及し、誰もが知っている身近なシス

テムとして認知されるようになったのである。

また、同社は創業間もなく、アメリカから消防ポンプ車の輸入を開始した。昭和初期には、その国内生産を開始するなど、「消火」というもう一つの柱を育てながら、日本の近代防災をリードしてきた。さらに、近年は時代のニーズに添えて、セキュリティや情報通信のフィールドにも進出。もちろん、長年にわたって受け継いでいる「人々に安全を」「社会に価値を」「企業をとりまく人々に幸福を」という経営理念のもと、安全に、安心して暮らせる環境の実現に貢献し、日本の火災防災業界をリードしてきた。製品やシステムの研究開発・製造から、販売・施工、メンテナンスに至るまで、一貫して火災防災ソリューション提供に取り組み、近年ではグローバル市場への展開を積極的に進め、国内外において高い評価と信頼を獲得している。

入社後、山形さんは多くの新入社員がそうであるように、現場職に4年間就いた。その後、営業畑一筋に歩み、27年を経て人事部長に就任。企業の将来を担う人材を確保するための採用活動を始め、異動、評価、教育などを担当した。

「社長になる前の3年間は、海外を担当しておりました。欧米エリアを中心とする既存市場で技術サポート網の充実や製品のシステム化を図ると共に、新規にASEANエリアの開拓を強化して、現地通貨ベースでは増収基調を維持し、少しずつ世界に羽ばたけるような状況になってきたのではないかと感じております。今後も、ぜひともこの基調を伸ばしていきたいと思えます」。

海外市場は欧州、米国、豪州、東南アジアなどにおいて、世界各国の消防規格に対応する製品を提供し、地域集約倉庫を設置するなど、グローバルなサプライチェーンを強化。もちろん、国内市場もインバウンドの高まりからホテルなどの首都

圏大型物件の需要が増大し、好調な事業環境が継続。2020年開催の東京オリンピック、パリオリンピックの競技施設に対する受注活動も本格化しつつある。



社長に就任し、ますます多忙な日々を送る山形さんに、健康法を伺った。

「健康には留意していますが、運動を取り入れるとか、何々を食べるようにするというこの前に、何より『規則正しい毎日を送ることを健康の基本とした』と常々、思っているのです。睡眠時間を確保することはもちろんですが、私が守りた

グローバルな

サプライ

チェーンを強化

いのは、お酒を必ず飲むという規則正しい生活なんです(笑)。適量を毎日。そう言って笑う山形さんは、普段から宴会があっても、二次会で切り上げるタイプで、11時には就寝。朝は5時に起床するという、まさに規則正しい生活を送っている。

「休日も、もちろん同じリズムですよ。お酒もちゃんと飲みます。それが一番の健康法だと思っておりますし、親からいただいたものはたくさんありますが、何が最も素晴らしいかといえば、やはりアルコール分解酵素をもたせてくれたことではないかと思うほどです。翌日、二日酔いで大変な思いをしたという経験がないのです」。

独自の健康法を大らかに話す山形さんだが、年に1回は大学時代の仲間と会って、親交を深める。そんな機会を大切にしていると話す。

「大学時代の仲間とは、以前から機会ある毎に再会していたのですが、東日本大震災をきっかけにして、我々が個人のレベルでできることといえ

ば、せめて宮城を始めとする被災地にお金を落とすことだ...ということになったわけです。そこで毎年、宮城や福島に1泊して、ゴルフを楽しむ小旅行を幹事役に計画してもらって、大学時代の仲間5〜8人で参加しています。これがとにかく楽しいのです。気兼ねなく、何でも話せる仲間と過ごす時間は、とても心が安まるものですね。これができる限り続けたいと思っています」。



最後に、東北学院という大学の印象を伺った。

「在学中は、独立したキャンパスをもつ工学部には、同じ分野を学ぶ仲間たちと先生方、研究や実験のための設備が全て整っている『カレッジ』のような印象がありました。しかし一方で、卒業して社会に出てから強く感じるようになったのが、学部を超えた卒業生たちの一体感です。同窓生にお会いする機会も多いのですが、先輩方は学部に関係なく、親近感をもって接してくださいませ。私が東北学院大学出身ですと申し上げますと、即座に距離が縮まるのを感じます。このような『カレッジ』と、学部を超えた交流ができる『ユニバーシティ』の良さ、両方をもち合わせているのが、私が感じる東北学院大学の魅力です。ですから、何か私でお役に立つのなら、恩返しというほどのことではないのですが、できることをさせていたいただきたいと思うようになってきました。先日、工学部のOBでつくる工学部機械TCG会にも参加させていただいたんですよ」と山形さん。

旧交を温めることで英気を養い、2018年には笑顔で創業100周年を迎え、そして次の100年を見据えて、災害による犠牲者がゼロの世の中を目指して、挑戦を続ける。



東北学院大学は『カレッジ』と『ユニバーシティ』の良さ

声なき声に
耳を傾け、
支え続けて
いきたい

社会福祉法人仙台キリスト教育院
業務執行理事院長
児童福祉施設 丘の家子どもホーム 園長

鈴木 重良
(すずき・しげよし)

昭和40年東北学院中学校卒業
昭和43年東北学院高等学校卒業
昭和47年文学部英文学科卒業
昭和49年法学部法律学科卒業

昭和24年8月2日生まれ。仙台市出身。中学校から東北学院に学び、大学は文学部英文学科を修了後、法学部に編入した。大学に礼拝を支える聖歌隊がないのを残念に思い、自ら組織して指揮を担当。そのころの仲間とは、現在も交流が続く。平成28年4月より現職。



子どもたちを見てきた 経験を活かして

今年、創立111周年を迎え、112年目を歩み始めた社会福祉法人仙台キリスト教育院。鈴木さんは大学在学中から住み込みでボランティア活動にあたり、卒業後に正式採用となった。そして昨年4月、10代目の院長に就任。ここでは明治39年の創立から5代目までは外国人が院長を務め、その後、大坂鷹司氏とその息子たちである譲治氏、欣哉氏が院長を務め、84年にわたって院の運営に尽力した。その後を受け継ぎ、乳児から高齢者までを預かる11の施設の最高責任者になった心境を、鈴木さんに伺った。

「大坂さん親子が長年にわたって院長を務められたことで、ご家族ならではの阿吽の呼吸のようなもので、この法人運営に大変良いものをもたらしてくださりました。ですから、その後を私が引き継ぐことは正直に申しまして、とても不安でした。ただ、このキリスト教を基盤とした法人の責任者は、クリスチャンになるべきということでご指名をいただきましたので、お引き受けする決心がつかしました。長く続けてきたからといって、それが必ずしも代表者にふさわしい経歴だとは思いませんが、大学在学中から、ずっとこちらで仕事をしてきましたので、これまでものことを全く知らないままにトップになるよりは、子どもたちや職員にとっても良かったのではないかなと思います」と、就任時の感想を語る一言一言に、実直な人柄がにじむ。

文学部で4年間学んだ後、法学部に編入した大
学5年目のときだった。さまざまな事情を抱えて、

親元を離れて暮らさなければならぬ子どもたちのための児童養護施設があることを初めて知り、衝撃を受けた鈴木さんは、昭和48年の3月、意を決してここに住み込み、大学に通いながらボランティアを始めた。

「そのころは職員の数も少なく、子どもたちの人数が多かったものですから、住み込みでなければボランティアもできない状況でした」と、当時を振り返る。そして大学を卒業した昭和49年に正式採用、現在に至るのである。

聖書の教えを 運営の基本として

明治38年の大凶作は、特に宮城、岩手、福島での被害が大きく、たくさん子どもたちが飢え死にしたという。ときを同じくして、宣教師フランシス・E・フェルプスという女性が、仙台で女子教育を行うた

めに訪れていた。そのフェルプス女史が、当時の根白石から、親と離れ、食べるものも食べずにやせ衰えた子ども7名を荷車に乗せて、仙台に連れ帰った。その子どもたちと暮らし始めたのが、仙台キリスト教育院の始まりだという。以降、仙台にこのような施設があるということが知れたり、たちまち子どもの数が増えて手狭になってしまったことから、国内外からの多額の寄与を受けて、仙台市北四番丁に院舎が建設された。

「戦争中も含めて、子どもたちを支援する施設でした。ですから、いまも名称に『育見院』という言葉が残っています。現在は、高齢者の方々にご利用いただく施設も運営しておりますが、その発端となったのは、いまから30年ほど前に地域の方々を対象に行ったアンケートでした。この育見院に望むことを聞いたところ、高齢者の支援施設をつくってほしいという声が多くあがったのです。私たちが運営する高齢者の方々のための施設は、特養ホーム『シオンの園』を始め、小松島地域包括支援センターや小松島デイサービスなどがありますが、その声に応えるかたちで実現したものです」。

実際に、仙台キリスト教育院には、生まれて2週間余りの乳児を預かる施設もあり、0歳児からお年寄りまでの利用者がいる。そして身寄りのない方々を祀るお墓もあることを鈴木さんが教えてくれた。

「つまり、この施設は『ゆりかごから墓場まで』を実践する福祉施設でありますし、仙台キリスト教育院という名が示す通り、キリスト教の聖書の教えを基本として、助けを必要としている子たちと高齢者を支援するところです。その根底には、揺るぎないキリスト教の精神が息づいています」と鈴木さんは力強く語る。





は東北学院で好きなことに打ち込み、次の人生につながるようなものと出会ってほしいと思いますし、それがかなう学校だと思っております。また同窓生の皆さまには、声をあげられない人に手を差し伸べられる社会になるよう『LIFE Light Love』の「3L精神をもって行動することをお願いしたいと思います。」。

鈴木さんは、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマ信徒への手紙12章15節)という仙台キリスト教育院が掲げるところとする神のみ言葉を胸に、今日も声なき声に耳を傾けている。



家族が再生する そのための力に

鈴木さんは、毎週日曜日の朝8時半から、子どもたち、そして職員の方々と一緒に礼拝を守ってきました。「讃美歌を歌い、聖書を読んでお祈りをするのが、私たちの一週間の始まりです。クリスチャンではない子どももおりますが、この時間は、ここが神様に守られていて、聖書の教えのもとに子どもたちが生活しているということを実感するひとときです。いまは礼拝とはどんなものなのか、わからなくてもいいのです。大人になったときに、礼拝の時間に何かいい言葉を聞いたな...と思いついてくれればそれでいいと思っています。そして、手元にある聖書を開

いてくれたら、きっと自分の支えになる言葉に出会えるはずですよ。鈴木さんは、子どもたちが「ここを卒業するとき、何か困ったことがあったときに開いてみなさい」というメッセージと共に、聖書と讃美歌を贈ることにしています。

「ここ」にやってくるのは、例えば、親からの虐待を受けて、児童相談所などが一緒に暮らしてはならないと判断した子どもたちが多く、そのほとんどが再び親と暮らせる日が来ることを切に望んでいるのだ。鈴木さんは、たくさんケースを目の当たりにしているからこそ、この事実を痛感している。

「まわりから見れば、決して良いとは言えない親も、子どもにとってはかけがえのない親です。私たちの仕事は、かわいそうな子どもを預かるのではなく、家族が再生するために力を貸すことなのだと思っています。また、ご高齢の方々には、最後に『いい人生だった』と思ってもらえるような支援、家庭だけではできないところに、手を差し伸べるのが私たちの役目なのです」と、鈴木さんは静かに語る。

「3L精神」を いつでも胸に

最後に、鈴木さんから同窓生にメッセージをいただいた。

「私は東北学院で中学から高校、大学と音楽をやってきました。大学では同級生の日野哲君と先輩たちとで聖歌隊をつくりました。私は指揮者であり、オルガンも弾きましたが、いまも礼拝で話すだけでなく、オルガンを演奏できることが、とてもありがたいことだと思っています。ですから、生徒・学生の皆さん



世代を超えたTGの輪

躍動する同窓生

PROGRESS

さまざまな分野で活躍する東北学院の同窓生たち。今回は地域にしっかりと根を張り、独自の経営方針で事業を継承する方々に、お仕事について、また学生時代の思い出などを伺いました。



株式会社松倉
代表取締役

松倉 善昭

(まつくら・よしあき)
昭和52年経済学部商学科卒

「新感覚」のおつまみ

「松倉さんは、大崎市古川にある昭和26年創業の菓子製造販売会社である。発売から50年余り、あられやピーナッツ、小魚などをミックスして袋詰めにした「パパ好み」を主力商品としてきた。

「私の父であり、創業者でもある初代社長が2年前に亡くなったのですが、そのときに地元の新聞社である大崎タイムスに、父の生涯を連載していただいたのです。記事は同社の伊藤卓二社長に書いていただきました。本当にありがたく、うれしかったです。私もお父のように地域に貢献できる経営者でありたいと思っています」と、2代目社長となった松倉さんは語る。

「松倉の代名詞とも言うべき「パパ好み」が発売されたのは、昭和35年。松倉さんは、幼いころから、お菓子を詰めた袋の

口を足踏みの機械を使ってとめる仕事を手伝っていたと言います。

「昔は、お菓子は計り売りだったのですが、お客さんのニーズに合わせて売ったのが、『パパ好み』の始まりなんです。当時は、お父さんのおつまみにする方が多かったのですが、商品名に『パパ』を使用しました。当時は新しい感じがしたんですよ。」

商品名はもちろん、パッケージのイラストも50年以上前のものをあえて使い続けている。

「本来はリニューアルすべきなのですが、が、地元の人には知られた商品ですので、あえて当時のままにしています」と松倉さん。中身はお客さまのニーズに合わせて、ときどき変えているそう。

アイディアマンだった父に負けず劣らず、松倉さんは、ずんだや仙台味噌など、地元の素材を活かした煎餅をつくったり、ブーム



発売以来、
あえてデザインを
変えていない、
おなじみのパッケージ
だよ!!



「感謝」から生まれる力

地域経済を牽引する企業として、従業員たちの働く環境の改善にも積極的に注力し、平成2年、菓子製造工場をオートメーション化。平成8年には販売部門をわけて、(株)セル松倉という販売会社をつくった。こちらは現在、松倉さんの長男が社長を務めている。松倉さんに大学時代の思い出を伺うと、「学生のころは、ヒムネンコーンという混声合唱団にいました。クリスマスなどのときは、聖歌隊として呼ばれて参加したこともあります。当時は、ゴールドブレンドコンサートというのがありましてね。それを仙台でやるときに、仙台フィル



女子ごのみは、
味や見た目にもこだわった
6種類の中味と、
ハンドバッグ型のパッケージも人気



の演奏で、『ドイツクライエム』を歌わせていただいたのもいい思い出です。」
本業を第一に考えながら、障害をもつ方々が地域で生き生きと生活したり、仕事をしたりできるように支援をしようと、社会福祉法人の立ち上げにも尽力。「地域へのお礼の気持ちを込めて、私にできることはしていきたいと思っています。以前は私も古川商工会議所でバンドを組み、夏祭りなどに参加していましたが、今年は息子がバンドで参加します。それも楽しみです」と松倉さん。9月には新商品の発売も予定している。常に新しいことに挑戦し、周囲への感謝を忘れない姿勢が、50年以上も衰えない人気を誇る商品を生み出す原動力になっているのかもしれない。



株式会社赤塚製氷
専務取締役
赤塚 弘行
(あかつか・ひろゆき)
平成19年経済学部経済学科卒



株式会社赤塚製氷
代表取締役
赤塚 弘実
(あかつか・ひろみ)
昭和52年経済学部経済学科卒

ENJOY ICE!!

100年の時を超えて

明治41年、天然氷の製造業として創業した(株)赤塚製氷。初代は津山村(現天童市)の村長を務めた人物で、起業したのは冬場、出稼ぎで生計を立てていた農家のために、地元でできる仕事を創出する地域貢献の目的もあったという。

「創業から順調に業績を伸ばしていたのですが、昭和30年代から冷蔵庫が普及し始めまして、どのお店にも製氷機があるのが当たり前という時代が到来しました。以降、家庭にも浸透していきまされたので、そのために氷屋が少なくなっていました。私の親の時代には、これからどうしようかと思案したようです。まず、お客さまが何を求めているのかを知るために、その声に耳を傾け、その結果としてドライアイスやアイスクリームの販売を行ったり、ホテルのブライダルなどで需要のある氷のアートなどを始めました」と社長の赤塚さん。厳しい時代を乗り越え、現在まで家業を守り続けてきた経緯を話す。

5代目に受け継がれる力

老舗の伝統を守り続けるために顧客の声に耳を傾けてそれに応え、常に時代の変化を読みながら、新しいことに挑戦し続けてきた赤塚さんが、創業100周年を迎え、新たに挑戦したことがある。それが品質と製法にこだわり、透明さに磨きかけた氷屋の水でつくるかき氷の販売だ。最初はプレハブの建物で夏の間

かき氷を

新しい日本の

食文化に。



だけの営業だったが、それが評判を呼び、山形県内外から人が押し寄せ、行列ができるほどの人気店となった。それが現在、山形県天童市の本社社屋に併設されたアイス専門店「ice cafe 弘水（KOSUI）」。

切り盛りするのは5代目となる赤塚さんの長男、弘行さんだ。「お客さまが言っていたんです。『氷屋さんがつくるかき氷、食べてみたいね』と、それがこの店をオープンさせるきっかけになりました。ただちや豆やさくらんぼ、

トマト、かぼちゃなど、県内産の果物や野菜を使用した自家製シロップと厳選したミルクはオリジナルで、初めて食べる人には、『かき氷らしくない』と感じる人もいるようです。でも、それでいいと思っています。かき氷の枠を超えたスイーツとして、目で見て、味わって楽しんでいただければうれしいです」と弘行さん。子どもころは、重い氷を運ぶ姿が裏方の辛さとなって目に映り、家が氷屋であることがとても嫌だったと話す。しかし、自ら地元山形

の経済を盛り立てるための一助にと、元の若手経営者たちと力を合わせて「ここにしかないもの」の発掘や創造に力を入れる日々が、その考えを変えていった。「先日、小さなお子さんが『将来は、かき氷屋さんになりたい』と言ってくれたのを聞いて、とてもうれしくなりました」と弘行さんは笑顔で話す。

そんなお二人に抱負を伺った。「最高の品質の水を通じて、豊かな食文化に貢献していくことが私たちの使命であると思いますし、これからの100年も地域の皆さまに愛される企業であるために努力していきます」と力強く語る社長の弘実さんに触発されるように、「かき氷に特化した仕事をするのではなく、氷を熟知している私たちがつくるかき氷というものに価値があると思いますので、家業である氷屋の仕事は続けていきます」と弘行さんが続ける。時代を読む先見性と、オリジナリティをカタチにする創造力、提案し続ける発信力は、4代目から5代目へとしっかり受け継がれている。





株門崎
〒029-0202 岩手県一関市川崎町薄衣字法道地21-16
TEL. 0191 (43) 4129

肉屋 格之進F
〒989-4201 東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズ サウスタワーB1F
TEL. 03 (3505) 0298
[営業時間] 平日 AM11:00~PM3:00(ラストオーダー PM2:00)
PM 5:00~PM11:00(ラストオーダーPM10:00)
土日祝 AM11:00~PM3:00(ラストオーダー PM2:00)
PM 5:00~PM10:00(ラストオーダーPM9:00)
[定休日] 不定休
[twitter] twitter.com/kaku_f_tyo
[Facebook] Facebook.com/kakunoshin.f

一関と東京を食でつなぐ 岩手を世界に届ける



KABCO/東京都港区六本木3-1-25 六本木グランドプラザ3F
格之進 Neuf/東京都港区六本木7-17-19 FLEG六本木 Second 2F
格之進 Nikutell/東京都港区六本木3-2-1 グランドタワー1F
格之進 R/東京都港区六本木7-8-16 小河原ビル2F
格之進 Rt/東京都渋谷区富ヶ谷1-9-20 エスヘランサ代々木M1F
格之進 TOKYO/東京都練馬区桜台1-8-3 第2伊藤ビル1F
格之進 Ex/山梨県上野原市大野4943 中央自動車道 談合坂サービスエリア(上り)
丑舎 格之進/岩手県一関市川崎町薄衣字法道地21-16
ミートレストラン 格之進/岩手県一関市山目字大槻67-1
焼肉のろし/岩手県陸前高田市米崎町松峰49-1

千葉さんは20代のときに家畜商であつた家業のブランディングに乗り出し、牛肉について真摯に学んだ。それが、いまや格之進の代名詞となつた熟成の技術や旨みを閉じ込める塊焼き、一頭買いと希少部位の提供など、牛肉の新たな価値を次々と発案することに結びついたのである。

「この先は、『お客さま』から『ファン』に、そして格之進の『一員』になつていただくことがテーマ」と千葉さん。「日本の食と農の未来を消費者と生産者と共にデザインしていこう」を合言葉に、関わる人全てが笑顔になれる事業展開を実践している。

「私は、食の消費は『投資』であると思つているんです。何を消費するかによつて、どこにお金の流れ、誰がどのような物事を継続できるのかということにつながるものだと捉えているからです。そのため、私たちが牛肉の未知なる可能性を発信することで、食リテラシーの高いお客さまが増え、『お客さまの消費は日本の農と食を守ることにつながる』ということをお伝えしたいと思つているのです。弊社が展開するレストランは、その価値を伝えていく場所であり、生産者と消費者の認知のギャップを埋める場所であつたり、中央と地方をつなぐハブでありたいと思うのです。」

懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 21

取材MEMO

食べることは、
投資すること…



バルを楽しめるカウンターと、熟成庫に陳列された熟成肉が迎えてくれる「肉屋 格之進F」。精肉販売の許可を取得した、まさに「肉屋」の店構えに、牛肉に対する並々ならぬ思い入れと自信が伝わってきます。ちなみに店名にあるアルファベットの「F」は、「FLAG SHIP TO THE FUTURE」と、「FOUNDATION」の2つの意味を表現。ネーミングにもセンスが光ります。



株式会社門崎
代表取締役

千葉 祐士
(ちば・ますお)

平成7年経済学部商学科卒

仕事で得たものを
ふる里に還元

一関・岩手の「食財」を首都圏や世界へと発信する旗艦店「肉屋 格之進F」を始め、首都圏を中心に11のレストランを展開する株門崎。岩手県一関に本社を構えながら、東京に出店するに至った経緯を伺った。

「大学時代を東北学院のある仙台で過ごし、各地から集まった仲間たちと交流を深めることで、東北には地域毎に異なる文化や風習があることを知りました。そんな東北の魅力は、自分が育つた岩手をベースとして知っているつもりですし、首都圏で事業を展開する中で、東北の独自性を武器にすることが私の価値になってくると思っているんです」と千葉さん。

その地方ならではの魅力を首都圏から日本中に、そして世界に発信しながら、その過程で自分たちが創り、得たものを東北にフィードバックすることで良い循環を創造したいと語る。

中央と地方をつなぐ
ハブでありたい

「私は、食の消費は『投資』であると

人をつなぐ日本酒の魅力を
一人でも多くの人に届けたい



取材MEMO

全国新酒鑑評会14年連続!
金賞受賞の「黄金澤」



初代川名家の創業の地は、美里町の隣町、涌谷町です。その場所が日本最古の金(砂金)の産地であったことから、川敬商店が造るお酒は「黄金澤」と命名されました。山姥仕込みを伝承するこの「黄金澤」は、平成28年全国新酒鑑評会で金賞を受賞しました。実は、この金賞の連続受賞記録は14年間も続いており、現在、日本記録を更新中です。

懐かしい風
新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 21



合名会社川敬商店
〒989-4206
宮城県遠田郡美里町二郷字高玉6-7
TEL. 0229(58)0333
[営業時間] AM8:30~PM5:00
[定休日] 土・日・祝
[ホームページ] <http://www.ameblo.jp/yuri-koganesawa/>



合名会社川敬商店
川名 由倫
(かわな・ゆり)
平成24年法学部法律学科卒

震災をきっかけに
「自分」を考える

宮城県北東部に位置する美里町。その豊かな田園風景に、清酒「黄金澤」の蔵元、川敬商店はある。明治35年に創業し、現在は6代目の川名正直さんが杜氏としてその味を守り続けている。そして5年前、正直さんの一人娘である由倫さんが、二、三十年ほど前までは女人禁制と言われていた、酒造りの世界の一員となった。

「実は、家業を継ぐ気は全くなかったんです。ただ、東日本大震災が起きたことで、自分がこの酒造りをする家系に、一人娘として生まれた意味を考えるようになった」と川名さん。いまでは、さまざまなお酒や食に関するイベントに向いては、川敬商店が造る「黄金澤」のPRにとどまらず、日本酒そのものの価値やおいしい楽しみ方を提案しようと東北から関東エリアを奔走。酒造りが行われる10月中旬から3月下旬までは、どっぷりと酒造りに浸る。そんな日々を送るようになって5年が経過した。「お酒は生きものです。造り始めたら一切、気を抜くことはできません」と話す言葉に覚悟がにじむ。

女性の感性を活かして
日本酒をもっと身近に

「東北学院大学での4年間は、損得など考えずに、自由に行動できた、本当にかげがえのない時間でした」と、当時を振り返る川名さん。就職の話もあつたが決心がつかず、大学を卒業した年の夏、東京にある公的機関の酒類総合研究所で酒造りの基本を習得。

「お酒を造ることはもちろん、人と人をつないだり、和ませたりする日本酒の効用にも、とても魅力を感じています」と語るように、徐々にこの仕事の面白さを感じるようになったと言う。弥生時代から続く酒造りを、伝統を守りながら、いまの時代に愛されるものを探り、提案することによりがいを見出す日々。宮城の7つの酒蔵で結成した「DATE SEVEN(伊達セブン)」の活動を始め、来年は日本全国の有力な若手蔵元が集まる「若手の夜明け」の役員になることも決まっている。「まだまだひよっこなので、酒造りを学ぶことを第一に、思わず日本酒を手に取りたくなるような、遊び心のある仕掛けを考えて、女性ならではの感性を活かしつつ、実践していったらいいなと思っています」と笑顔で語る。

平成29年度東北学院同窓会代議員会次第

日時：平成29年5月15日(月)13:15～ 場所：仙台国際ホテル2階「平成の間」

議事については以下の通り

議 事

- (1) 同窓会への入会についての報告(了承)
- (2) 東北学院評議員の推挙についての報告(了承)
- (3) 平成28年度同窓会庶務報告(了承)
- (4) 平成28年度同窓会支部TG会開催について(了承)
- (5) 平成28年度支部活動補助利用状況について(了承)
- (6) 平成28年度収支決算について(承認)

- (7) 平成28年度同窓会財産目録(承認)
- (8) 平成28年度監査報告書(承認)
- (9) 平成29年度同窓会事業計画(案)について(承認)
- (10) 平成29年度同窓会予算(案)について(承認)
- (11) 東北学院同窓会慶弔規程一部改正について(承認)
- (12) 東北学院同窓会費の徴収について(継続審議)

平成29年度 東北学院同窓会収支予算

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

収入の部					支出の部				
科 目	29年度予算額	28年度予算額	増減(29年度-28年度)	備 考	科 目	29年度予算額	28年度予算額	増減(29年度-28年度)	備 考
前年度繰越金	13,126,161	21,256,728	△8,130,567	29年度予算額に貯蔵品156,000円を含む	総 会 費	120,000	120,000	0	会場使用料
入 会 金	9,504,000	10,029,000	△ 525,000	@3,000円 3,168人	集 会 費	5,100,000	4,500,000	600,000	支部総会・TG会総会等への出席費
内 訳					旅 費 交 通 費	7,500,000	7,500,000	0	支部総会・TG会総会等出席旅費
大 学 院	21,000	24,000	△ 3,000	7人	活 動 補 助 費	2,500,000	2,000,000	500,000	支部総会・TG会総会活動補助
文 学 部	1,284,000	1,365,000	△ 81,000	428人	印 刷 費	5,700,000	5,737,000	△ 37,000	同窓会便覧・3L通信等印刷費、各種封筒等印刷費
経 済 学 部	1,806,000	1,965,000	△ 159,000	602人	通 信 費	1,200,000	1,200,000	0	郵便料金、宅配郵送料、切手はがき、3L通信発送費等
経 営 学 部	900,000	951,000	△ 51,000	300人	広 報 費	2,100,000	3,200,000	△ 1,100,000	学院時報増頁分、各種広告
法 学 部	948,000	1,032,000	△ 84,000	316人	時 報 購 読 料	0	0	0	H29年度より預り金処理のため科目削除
教 養 学 部	1,209,000	1,206,000	3,000	403人	ク リ ス マ ス 費	300,000	350,000	△ 50,000	東北学院へ
工 学 部	1,275,000	1,401,000	△ 126,000	425人	TG十五日会費	3,300,000	3,300,000	0	講師謝礼、会場費等
高 校	621,000	627,000	△ 6,000	207人	人 件 費	1,800,000	1,800,000	0	TGSSサポートスタッフ
榴ヶ岡高校	903,000	966,000	△ 63,000	301人	業 務 委 託 費	6,200,000	6,200,000	0	派遣職員(2名)の派遣費用
中 学 校	537,000	492,000	45,000	179人	福 利 厚 生 費	1,200,000	1,000,000	200,000	叙勲祝他慶弔費等
会 費	38,553,600	39,484,800	△ 931,200	大学@3,000円 中学・高校・榴ヶ岡@1,800円 13,846人	会 議 費	400,000	800,000	△ 400,000	常任委員会会場費
大 学 院	222,000	306,000	△ 84,000	74人	備 品 費	200,000	200,000	0	
文 学 部	5,595,000	5,685,000	△ 90,000	1,865人	事 務 費	100,000	200,000	△ 100,000	事務消耗品等
経 済 学 部	7,998,000	8,247,000	△ 249,000	2,666人	雑 費	1,200,000	1,900,000	△ 700,000	ホームページ保守、各種手数料
経 営 学 部	4,263,000	4,290,000	△ 27,000	1,421人	オ リ ジ ナ ル 品 制 作 費	3,200,000	3,100,000	100,000	支部・TG会総会、卒業記念品
法 学 部	4,506,000	4,575,000	△ 69,000	1,502人	TG会館建設資金並びに運営資金	0	5,000,000	△ 5,000,000	隔年実施のためH29年度なし
教 養 学 部	5,457,000	5,610,000	△ 153,000	1,819人	TG交流ゴルフ大会	0	600,000	△ 600,000	H29年度より別会計
工 学 部	6,036,000	6,216,000	△ 180,000	2,012人	事 業 収 入	800,000	0	800,000	ゴルフ大会他
高 校	1,983,600	2,041,200	△ 57,600	1,102人	サ テ ラ イ ト ス テ ー ジ ョ ン	4,700,000	7,540,000	△ 2,840,000	負担金(東北学院へ)、傷害保険
榴ヶ岡高校	1,612,800	1,661,400	△ 48,600	896人	鞆本大蔵精製酒	800,000	1,750,000	△ 950,000	支部のある8自治体へ教育支援
中 学 校	880,200	853,200	27,000	489人	同窓会支援事業費	0	2,500,000	△ 2,500,000	東北学院へ寄付(同窓生システム構築補助)、H29年度より科目削除
事 業 収 入	0	450,000	△ 450,000	H29年度より科目削除	同窓会奨学事業費	3,000,000	3,000,000	0	給付奨学金
TG十五日会	1,500,000	1,500,000	0		同窓会記念事業費	0	2,000,000	△ 2,000,000	H29年度より科目削除
寄 付 金	10,000	50,000	△ 40,000		予 備 費	11,423,761	7,423,528	4,000,233	
TG会館建設資金並びに運営資金繰入収入	0	0	0		合 計	62,843,761	72,920,528	△ 10,076,767	
雑 収 入	150,000	150,000	0	預金利息とオリジナルグッズ販売収益等					
合 計	62,843,761	72,920,528	-10,076,767						

科目間及び予備費の流用については、三役会議の了承を得て執行いたします。

TG会館建設資金並びに運営資金	前期末残高	当期繰入金額	当期末残高	備 考
	170,000,000	0	170,000,000	七十七銀行、仙台銀行

平成28年度 東北学院同窓会収支決算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

収入の部					支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	備 考	科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	備 考
前年度繰越金	21,256,728	21,256,728	0	272,160円(貯蔵品)を含む	総 会 費	120,000	114,048	5,952	代議員会会場費
入 会 金	10,029,000	9,924,000	105,000	@3,000円	集 会 費	4,500,000	4,825,000	△ 325,000	支部総会・TG会総会等出席費
内 訳					旅 費 交 通 費	7,500,000	7,144,410	355,590	総会、支部総会、TG会総会、全国支部長会議等旅費
大 学 院	24,000	18,000	6,000		活 動 補 助 費	2,000,000	2,155,522	△ 155,522	支部総会・TG会総会等活動費補助
文 学 部	1,365,000	1,311,000	54,000		印 刷 費	5,737,000	5,238,069	498,931	同窓会便覧・3L通信・封筒等印刷費
経 済 学 部	1,965,000	1,926,000	39,000		通 信 費	1,200,000	1,072,989	127,011	郵便料金・宅配郵送料・振込手数料・海外時報送費・切手はがき等
経 営 学 部	951,000	942,000	9,000		広 報 費	3,200,000	1,747,640	1,452,360	学院時報増頁2回分東北学院へ、新聞計報広告
法 学 部	1,032,000	957,000	75,000		時 報 購 読 料	3,500,000	4,512,000	△ 1,012,000	東北学院へ(次年度より預り金処理)
教 養 学 部	1,206,000	1,224,000	△ 18,000		ク リ ス マ ス 費	350,000	259,235	90,765	公開東北学院クリスマス経費の50%東北学院へ
工 学 部	1,401,000	1,452,000	△ 51,000		TG十五日会費	3,300,000	3,101,684	198,316	講師謝礼・会場費等
高 校	627,000	627,000	0		人 件 費	1,800,000	1,800,000	0	東北学院サテライトステーションサポートスタッフ2名分
榴ヶ岡高校	966,000	969,000	△ 3,000		業 務 委 託 費	6,200,000	5,833,728	366,272	派遣職員2名分
中 学 校	492,000	498,000	△ 6,000		福 利 厚 生 費	1,000,000	1,392,121	△ 392,121	叙勲者祝金・香典・生花他慶弔費
会 費	39,484,800	38,706,300	778,500	大学@3,000円 中学・高校・榴ヶ岡@1,800円	会 議 費	800,000	331,558	468,442	常任委員会会場費
大 学 院	306,000	261,000	45,000		備 品 費	200,000	0	200,000	
文 学 部	5,685,000	5,553,000	132,000		事 務 費	200,000	43,083	156,917	事務消耗品費等
経 済 学 部	8,247,000	8,094,000	153,000		雑 費	1,900,000	1,520,848	379,152	各種手数料、卒業記念品、同窓会ホームページ保守等
経 営 学 部	4,290,000	4,200,000	90,000		オ リ ジ ナ ル 品 制 作 費	3,100,000	3,682,436	△ 582,436	支部・TG会記念品、ゴルフ大会参加記念品、ネクタイ制作費、貯蔵品
法 学 部	4,575,000	4,497,000	78,000		TG会館建設資金並びに運営資金	5,000,000	5,000,000	0	2年毎に5,000,000円組入れ
教 養 学 部	5,610,000	5,505,000	105,000		TG交流ゴルフ大会	600,000	598,610	1,390	大会経費(次年度より別会計)
工 学 部	6,216,000	6,072,000	144,000		高 校	2,041,200	1,921,500	119,700	同窓会負担分(賃借、共益、消耗品1/2)・人件費、サポートスタッフ2名分傷害保険
高 校	2,041,200	1,921,500	119,700	月@150円(年1,800円)以下@1129人分	榴ヶ岡高校	1,661,400	1,648,650	12,750	東日本大震災教育支援経費
榴ヶ岡高校	1,661,400	1,648,650	12,750	月@150円(年1,800円)以下@473人分	中 学 校	853,200	954,150	△ 100,950	同窓会支援事業費
中 学 校	853,200	954,150	△ 100,950	月@150円(年1,800円)以下@473人分	時 報 購 読 料	3,500,000	4,512,000	△ 1,012,000	同窓生システム構築補助として東北学院へ
事 業 収 入	450,000	402,000	48,000	年額2,000円 H29年度より預り金処理	事 業 収 入	450,000	402,000	48,000	給付奨学金 中・高・榴ヶ岡高校9名15万円、大学3名(後期学納金相当額)
TG十五日会	1,500,000	1,323,000	177,000	TG交流ゴルフ大会参加費(次年度より別会計)	TG十五日会	1,500,000	1,323,000	177,000	同窓会記念事業費
寄 付 金	50,000	52,000	△ 2,000	1人1,500円、11回開催	予 備 費	7,423,528	0	7,423,528	
TG会館建設資金並びに運営資金繰入収入	0	0	0		小 計	76,420,528	63,212,869	13,207,659	
雑 収 入	150,000	163,002	△ 13,002	預金利息・オリジナルグッズ販売	次年度繰越金	0	13,126,161	△ 13,126,161	2,156,000円(貯蔵品)を含む
合 計	76,420,528	76,339,030	81,498		合 計	76,420,528	76,339,030	81,498	

全国に活動の場を広げる

全国の支部・TG会の活動報告 北から南から

全国 87支部 121 TG会

TGネットワーク

Around Japan

同窓会支部一覧 87 支部

平成29年9月1日現在

宮城県	北海道	岩手県	山形県	関東	東海・近畿
仙台同窓会	札幌支部	盛岡支部	山形支部	東京支部	東海支部
青葉支部	旭川支部	一関支部	上山支部	神奈川支部	静岡支部
泉支部	岩見沢支部	奥州支部	寒河江支部	栃木支部	近畿支部
太白支部	帯広・十勝支部	釜石支部	酒田支部	群馬支部	
太白支部秋保地区 TG会	釧路支部	北上・和賀支部	新庄支部	武蔵野支部	
宮城野支部	函館支部	気仙支部	天童支部	水戸支部	
宮城野支部岩切 TG会	室蘭支部	紫波支部	米沢支部		
宮城野支部高砂 TG会	宮城蔵王支部	宮古支部			
若林支部	角田・丸森支部				
多賀城支部	白石支部	青森県	秋田県	福島県	信越・北陸
利府支部	黒川支部	青森支部	秋田県中央支部	福島県北支部	新潟支部
塩釜支部	大崎支部	八戸支部	秋田県大館支部	会津支部	信州支部
松島支部	登米支部	弘前支部	秋田県南支部	いわき支部	北陸支部
鳴瀬支部	美里支部	上十三支部		郡山支部	九州支部
石巻支部	涌谷支部			相馬支部	
女川支部	栗原支部			南相馬支部	
志津川支部	鳴子支部			双葉支部	
気仙沼支部					
					北米
					北米支部

TG会一覧 121 TG会

平成29年9月1日現在

アーサナス同窓会	コクヨグループTG会	TGしびる技術士会	日比谷総合設備グループTG会
アイリスグループTG会	コセキTG会	TGスポーツOB連合会	びっと62TG会
秋田市役所TG青葉会	裁判所TG会	TG地理学同窓会	藤崎TG会
ALSOK宮城TG会	三機工業グループTG会	TG鍼灸接骨師会	富士ゼロックス宮城TG会
石巻市役所TG会	職業会計人TG会	TGパソコングループ会	復建TG会
石巻信用金庫TG会	七十七銀行TG会	TG薬剤師会	古川工業高等学校TG会
泉女子寄宿合同窓会	清水建設TG会	TG地塩会	古川電気工業TG会
岩手医大TG会	シロキヤ・オフィスベンダーTG会	電気工学TG会(コスモス会)	弁護士TG会
岩手県教職員TG会	神学TG会	デンタルTG会	法学部同窓会
岩手県庁TG会	JR東日本TG会	凸版印刷TG会	舗装TG会
エイエイピーTG会	菅原学園TG会	東邦銀行TG会	北海道教職員TG会
NTTグループTG会	仙台銀行TG会	東北運輸局TG会	マンパワーグループTG会
遠藤商事TG会	仙台国際ホテルTG会	東北学院高等学校二部TG会	みちのく銀行TG会
大木建設TG会	仙台市議会議員TG会	東北学院3L会	水戸屋TG会
大崎市役所TG会	仙台市役所TG会	東北学院中学校・高等学校同窓会	宮城県議会議員TG会
OKIテクノパワーシステムズTG会	仙台青年会議所中高TG会	東北学院中学高等学校寄宿合同窓会	宮城県警TG会
角田市役所TG会	セントTG会	東北学院榴ヶ岡高等学校同窓会	宮城県宅地建物取引業協会TG会(宮宅建TG会)
鹿島TG会	銭高組TG会	東北高等学校TG会	宮城県庁TG会
兜町TG会	全日警仙台支社TG会	東北ゴムTG会	宮城第一信用金庫TG会
釜石市役所TG会	総合警備保障TG会	東北放送TG会	宮城ダイハツTG会
川口印刷工業TG会	大成建設グループTG会	東北マツダTG会	宮城トヨタTG会
教養学部TG会	太平エンジニアリングTG会	東洋熱工業(株)東北支店TG会	宮古市役所TG会
北日本銀行TG会	多賀城寄宿合同窓会	戸田建設TG会	明治安田生命TG会
基督教学科TG会	多賀城市役所TG会	ドクターTG会	盛岡市役所TG会
キリスト者TG会	竹中TG会	土木教員宮城TG会	杜の都信用金庫TG会
行政書士TG会	田崎真珠TG会	日専連TG会	守屋グループTG会
建設TG会	千葉県警TG会	西原グループTG会	ユアテックTG会
工学部機械TG会	鉄鋼TG会	花巻市役所TG会	リコージャパン東北営業本部TG会
弘進ゴムTG会	帝国データバンクTG会	バイタルネットTG会	
コカ・コーライーストジャパンTG会	TG史学同窓会	東九番丁寄宿舍(北黎寮)TG会	
古久根建設TG会	TGしびる会	日立キャピタルTG会	

【情報をお寄せください】全国で幅広い活動を行う支部、TG会の活動報告の場です。皆様の情報をお待ちしております。(情報は校友課まで)



安孫子 修一氏所蔵

TG Gallery
東北学院中学校・高等学校 旧校舎
Taku Furuyama

古山 拓。昭和61年 文学部史学科卒。昭和37年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、平成6年、フリーイラストレーターとして独立。東北、東京等各地で風景水彩画の個展を開催。個展発表と広告美術の二本の柱で活動中。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。パリで開催された国交省イベント「ようこそ東北へ」では、東北風景紹介作家としてメイン展示。アトリエ名／ランズエンド。洋画家 故・杉浦朝雄氏に師事。●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)宮城県芸術協会会員

東北学院大学

土樋キャンパス

大学院:文学研究科・経済学研究科・経営学研究科
法学研究科

学 部:文学部・経済学部・経営学部
法学部(各3・4年)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

多賀城キャンパス

大学院:工学研究科

学 部:工学部

〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号
TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

泉キャンパス

大学院:人間情報学研究科

学 部:文学部・経済学部・経営学部
法学部(各1・2年)・教養学部

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学校・高等学校

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号
TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

3L通信編集委員会

委員長	同窓会副会長・法人事務局長	斎藤	英夫
副委員長	同窓会副会長	峯岸	良造
委 員	東北学院庶務部長	齋藤	信二
	東北学院大学学長室長・経済学部教授	阿部	重樹
	同窓会若林支部幹事長(代議員)	亀岡	幸康
	同窓会宮城野支部(代議員)	菊地	茂
	法学部同窓会副会長	館崎	智信
	仙台同窓会事務局長(代議員)	高橋	公晴
	同窓会太白支部(代議員)	馬場	弘幸
	TGスポーツOB連合会副会長	内海	睦夫
	ユアテックTG会事務局長(代議員)	増田	敏
	東北学院広報部長	大沼健一郎	
	東北学院庶務部校友課長	山田	純
	東北学院庶務部校友課長補佐		
	東北学院庶務部校友課係長		

発行日/2017(平成29)年9月1日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/後藤 久幸(東北学院同窓会長)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL : http://www.tg-alumni.jp

E-mail : dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷/株式会社ユーメディア

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡くださいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結ぶ通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会公式ホームページから行うことができます。

お名前の「旧字体」や「特殊文字」の扱いについて

同窓生情報のシステムの変更に伴い、お名前に旧字体や特殊文字をお使いの方は、会報の送付の際などに、常用の字体(JIS第二水準)に置き換えて表記させていただきます。皆様方には、ご理解とご協力をお願いいたします。